

平成26年度
事業状況報告書



NEW FRONTIER
社会福祉法人 明正会

目 次

法人全体事業状況	2
介護老人福祉施設青空本館	11
介護老人福祉施設青空新館	18
通所介護ポピー	22
軽費老人ホーム・特定施設入居者生活介護桜草	26
認知症対応型共同生活介護さくらんぼ	29
居宅介護支援事業所りんどう	33
訪問介護ひまわり	36
サービス付高齢者向け住宅グランドケア琥珀	38
通所介護みのり	42
訪問介護雅	46
地域密着型ユニット型介護老人福祉施設四季咲きの杜	49

I 法人事業状況報告

法 人 本 部

1 法人全体事業状況総括

平成26年度は法人第二期中期計画の最終年度として、7月20日に深谷市柏合でサービス付高齢者向け住宅「グランドケア琥珀」等を、11月1日に上里町で訪問介護ステーションひまわりを、27年3月25日に本庄市で地域密着型ユニット型特別養護老人ホーム「四季咲きの杜」をオープンさせました。

平成13年の施設開園以来、本部地域以外で初めて施設等を開園させることとなり、「選ばれる施設」を一層広げ、多様性のある選択肢の中で高齢者の方の最適な暮らしを支えるための基盤整備を行った年度となりました。

事業規模の一定程度の拡大は、法人が地域の暮らしの中に位置づけられるためには必要となり、また、社会福祉法人としての公益性を確保するためにも必要となります。

その中で、各事業の安定化を図ることが次年度の最大の課題であることは言うまでもありません。

しかし、介護保険制度は平成27年改正でこれまでにない非常に厳しい内容となりました。新規事業のみならず既存事業についても、存在を脅かされるほどの改正が行われ、社会福祉、高齢者介護事業は難しい状況に置かれています。

それは、社会福祉法人の在り方についても同様であり、事業環境は複雑になる一方で事業継続を最大の課題にせざるを得ない状況となっています。

26年度は、既存サービスにおいては事業計画を一部刷新し、新規事業との相乗効果を上げるべく事業に当たってきました。

各事業とも「暮らしを支える視点」を個々のアプローチから取り組みを行うことで、生活支援サービス事業者として処遇の向上、施設間の共通認識、また、事業間の連携を強化することとなるよう取り組んできました。

これらの取り組みは、平成27年度からの第三期中期計画へと引き継がれることとなります。

今後は、「施設」「在宅」といったカテゴリーを選択肢とするのではなく、利用者の暮らしにあったサービスをその時々合ったサービス提供を総合的に提供出来る法人事業規模へと変化させて行く事が必要となります。

制度としての制約等により限られる事もありますが、地域に暮らす人々のセーフティネットとしての法人・事業体を目指して事業の継続を図って行かなければなりません。

引き続き、事業展開等も随時検討精査しながら、サービス提供の質の向上を図ることで地域に、社会に貢献できる社会福祉法人を目指し運営を行います。

2 法人事業概要

(1) 実施事業

平成26年4月16日	不在者投票（上里町長選挙・上里町議会議員選挙）
30日	避難訓練
5月26日	監事監査
27日	理事会・評議員会
30日	本庄地域密着型特養建築工事入札公告
6月10日	理事会・評議員会
20日	居宅介護支援センターりんどう指導監査
7月6日	介護・健康相談会（上里町・ユニクス上里）
10日	深谷市グランドケア琥珀竣工式 理事会・評議員会
11日	深谷市グランドケア琥珀内覧会（13日まで）
16日	本庄市地域密着型建築工事入札
20日	上里エリア 納涼祭 深谷市グランドケア琥珀開園
31日	本庄市地域密着型特養地鎮祭
8月3日	介護・健康相談会（上里町・イオンモール）
27日	避難訓練
9月4日	理事会・評議員会
7日	介護・健康相談会（深谷市・アリオ）
17日	本庄市地域密着型特養着工検査
10月13日	深谷エリア・琥珀祭り
18日	職員旅行（ディズニーランド）
21日	理事会・評議員会
24日	第三代理事長設楽敬三就任
29日	職員健康診断（30日）
11月1日	上里エリア 訪問介護ステーションひまわり開所
14日	職員旅行（ディズニーランド）
16日	第5回介護セミナー（基調講演：鳥海房枝様）
26日	本庄市地域密着型特養中間検査
12月10日	不在者投票（衆議院議員選挙）
24日	避難訓練・もちつき会
平成27年2月18日	健康祈願祭
27日	本庄市地域密着型特養完了検査
3月6日	本庄市地域密着型特養竣工式

- 理事会・評議員会
- 7日 上里町福祉大会
- 9日 本庄市地域密着型特養内覧会（10日）
- 25日 本庄市地域密着型特養開園
- ※毎月第二水曜日 運営会議開催

(2) 法人施設内研修実施状況

	内 容	参加人数
4月	自立支援に向けた支援計画 アセスメント	52
5月	自立支援に向けた支援計画 カンファレンス	48
6月	接遇・マナー研修（ANAビジネスソリューション講師による講義）	53
7月	感染症対策・救命処置法研修	49
8月	医療と看護・看取り介護	58
9月	高齢者虐待防止について	51
10月	感染症対策	49
11月	認知症高齢者との関わり方	48
12月	介護職としてのマナーとは何か	46
1月	ユニットケアについて	45
2月	シーティングについて	51
3月	介護保険法改正	58

(3) 職員の状況

- ① 年間入職者 13名（前年度17名）（職員8名 非常勤職員5名）
- ② 年間退職者数 9名（前年度12名）（職員4名 非常勤職員5名）
- ③ 年度末在籍者数 95.3名（常勤換算 前年度91.3名）

※職員状況資料

ア 入退職者数

		入職者数	退職者数
特養	常勤	6.0	2.0
	非常勤	2.0	3.0
デイ	常勤		
	非常勤	1.0	1.0
ケア	常勤	2.0	1.0
	非常勤		
GH	常勤		

	非常勤	1.0	
他	常勤		1.0
	非常勤	1.0	1.0
計	常勤	8.0	4.0
	非常勤	5.0	5.0
合計		13.0	9.0

※常勤・非常勤は雇用形態ではなく常勤換算数

月別部署別常勤換算数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	常勤	31	31	31	31	31	33	33	33	33	32	32	32	31.9
	非常勤	20.6	20.6	20.6	19.6	19	17	16.2	17.8	17.8	17.8	17.8	18.8	18.6
	計	51.6	51.6	51.6	50.6	50.0	50.0	49.2	50.8	50.8	49.8	49.8	50.8	50.6
短期	常勤	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
	非常勤	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	計	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5
特養計		60.1	60.1	60.1	59.1	58.5	58.5	57.7	59.3	59.3	58.3	58.3	59.3	59.1
デイ	常勤	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	非常勤	4.1	4.1	3.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	3.3	4.1
	計	9.1	9.1	8.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	8.3	9.1
ケア	常勤	9.0	9.0	9.0	8.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	8.0	8.8
	非常勤	6.0	7.0	7.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.5
	計	15.0	16.0	16.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	13.0	14.3
GH	常勤	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	非常勤	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.8
	計	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	6.0	6.0	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9	6.8
居宅	常勤	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.8
	非常勤	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.8
訪問	常勤								1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.7
	非常勤						1.0	1.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.6
	計						1.0	1.0	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.3
清掃	非常勤	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	1.5	1.5	1.5	2.0
常勤		59.0	59.0	59.0	59.0	60.0	62.0	62.0	63.0	63.0	62.0	62.0	61.0	60.9
非常勤		36.3	37.3	36.5	35.5	33.9	31.9	31.1	34.4	34.4	33.8	33.8	33.8	34.4
計		95.3	96.3	95.5	94.5	93.9	93.9	93.1	97.4	97.4	95.8	95.8	94.8	95.3

3 財務の状況

(1) 貸借対照表

平成 27 年 3 月 31 日現在

流動資産	138,737,658	流動負債	95,796,317
固定資産	1,075,489,130	固定負債	554,631,760
		純資産	563,798,711
資産合計	1,214,226,788	負債純資産合計	1,214,226,788

(2) 事業活動計算書

自：平成 26 年 4 月 1 日 至：平成 27 年 3 月 31 日

介護保険事業収益	533,089,080
老人福祉事業収益	38,887,874
経常経費寄附金収入	1,401,120
サービス活動収益計	573,378,074
人件費	392,219,878
事業費	103,806,111
事務費	120,554,436
減価償却費	22,720,159
サービス活動費用計	639,300,584
サービス活動増減差額	△65,922,510
サービス活動外収益	3,154,184
サービス活動費用	4,934,906
サービス活動外増減差額	△1,780,722
経常増減差額	△67,703,232
特別収益計	0
特別費費用計	0
特別増減差額	0
当期活動増減差額	△67,703,232
次期繰越活動増減差額	74,129,466

(3) 資金収支計算書

自：平成26年4月1日 至：平成27年3月31日

介護保険事業収入	533,089,080
老人福祉事業収入	42,403,874
経常経費寄附金収入	1,306,000
受取利息配当金収入	6,174
その他の収入	3,148,010
事業活動収入計	579,953,138
人件費支出	390,915,354
事業費支出	104,160,991
事務費支出	120,554,436
支払利息支出	4,934,906
事業活動支出計	620,565,687
事業活動資金収支差額	△40,612,549
施設整備等収入計	244,200,000
設備資金借入金元金償還金支出	20,316,000
固定資産取得支出	263,981,844
施設整備等支出計	284,297,844
施設整備等資金収支差額	△40,097,844
その他の活動収入計	128,400,608
その他の活動支出計	49,196,132
その他の活動資金収支差額	79,204,476
当期資金収支差額合計	△1,505,917

4 平成26年度提供食数

(1) 介護老人福祉施設「青空」

	朝食	昼食	おやつ	夕食
4月	2,529	2,559	2,560	2,535
5月	2,642	2,664	2,666	2,643
6月	2,587	2,608	2,604	2,589
7月	2,690	2,750	2,572	2,694

8月	2,613	2,663	2,666	2,619
9月	2,563	2,590	2,598	2,553
10月	2,736	2,749	2,756	2,738
11月	2,648	2,668	2,669	2,649
12月	2,650	2,664	2,662	2,655
1月	2,640	2,657	2,658	2,648
2月	2,431	2,457	2,457	2,441
3月	2,678	2,704	2,706	2,685

(2) ケアハウス「桜草」(特定施設入居者生活介護)

	朝食	昼食	おやつ	夕食
4月	757	690	0	773
5月	809	748	0	818
6月	776	743	0	793
7月	818	781	0	847
8月	838	786	0	865
9月	764	701	0	786
10月	802	734	0	824
11月	761	718	0	773
12月	773	724	20	788
1月	826	775	0	852
2月	798	749	0	814
3月	781	723	0	788

(3) グループホーム さくらんぼ

	朝食	昼食	おやつ	夕食
4月	240	232	0	239
5月	248	236	0	249
6月	240	229	0	240
7月	248	246	0	247
8月	247	245	0	247
9月	238	238	0	238
10月	237	228	0	237
11月	239	236	0	239
12月	247	245	0	246

1月	242	241	0	244
2月	214	212	0	214
3月	217	217	0	218

(4) デイサービスセンター ポピー

	朝食	昼食	おやつ	夕食
4月	0	441	441	0
5月	0	429	429	0
6月	0	439	439	0
7月	0	484	477	0
8月	0	456	456	0
9月	0	447	402	0
10月	0	496	494	0
11月	0	417	415	0
12月	0	379	285	0
1月	0	333	333	0
2月	0	374	374	0
3月	0	394	394	0

Ⅱ 介護老人福祉施設 事業状況報告

特別養護老人ホーム青空本館

1 年度総括

26年度事業計画は、中規模型を導入するための準備年度として、また、いままで培った介護ノウハウを、効率的・効果的に実行する年度として事業にあたりました。

本館・新館共に介護老人福祉施設として行動方針を共有しつつ、本館・新館の独自性を持ったアクションプランを策定し実践しました。

全体会議は原則廃止とし、報告・連絡等は書面またはメール等で行いました。効率的な運営を行う一つの取り組みとして一定の効果が得られましたので来年度も継続することとします。

日常業務では、リーダーが実行責任を持って業務にあたりました。この1年で格段の成果が認められることはありませんが、今後も職員個々の介護ノウハウを発揮し継続的に実践します。

また、中規模ユニット型導入を目指す準備年度として、「当たり前の生活」を提供するために必要不可欠であるアセスメントに注力する年度でした。「当たり前の生活」は、現在の施設での暮らし方の把握はもちろん、以前の生活様式が把握できていないと支援ができません。

26年度は、施設入所以前の生活様式に目を向けたアセスメントに力点を置くことになっていましたが、現在の施設での暮らしのアセスメントに偏り、利用者の方個々の生活様式に注力する意識が青空全体として欠けていました。

原因として、介護支援専門員を中心に役職者が「入所前の生活様式を連続性を保ったまま施設生活を送ることが「当たり前の生活」に繋がる」ことの重要性を担当者に伝えきれていなかったことが挙げられます。もちろん、包括的な視点でアセスメントを行っている職員もいますが、全体として介護支援計画に基づいて支援をする風土は確立されておらず、また、支援におけるケアプランの位置づけの理解も浅く、今後は、総合的なケアマネジメントの手順、過程を理解し、計画に沿った支援が求められています。それに合わせて、職員をサポートする役職者のマネジメント力の向上も求められています。

2 年間実施事業

(1) 事業計画取組み事項

- ① 個別ケアの充実を図る取組みとしてアセスメント力の向上を図るためカンファレンスツール様式の見直しを行い、利用者の生活歴の把握に努め、利用者個々の施設生活がより充実したものになるための取組みを行う。
- ② 日々の業務の中で、職員が自ら考えて行動できるために、各階のリーダーを主に職員間で連携を図り日々の業務遂行が行えるための取組み。
- ③ 中規模ユニット型の導入に向け、連絡会議にて情報収集を行う。
- ④ 新人指導として主担当職員を決め、業務以外でもフォローしてゆける指導体制の充実を図る。

- ⑤ 入所、ショートステイ共に稼働率向上を図るため、他事業所との連絡・調整を積極的に実施。

(2) 研修等事業

① 施設内研修

- ・ 4月 自立支援に向けた支援計画「アセスメント」
- ・ 5月 自立支援に向けた支援計画「カンファレンス」
- ・ 6月 接遇・マナー研修会「ANA 講師によるマナー研修」
- ・ 7月 緊急時の対応「上里消防署隊員による AED の取扱い及び心肺蘇生法」
- ・ 8月 介護施設における医療と看護「看取りに役立つ知識」
- ・ 9月 事故対策研修会「高齢者虐待防止について」
- ・ 10月 感染症予防研修会「嘔吐物処理の再確認等」
- ・ 11月 1 グループ研修会「認知症の中核症状」
第 5 回介護セミナー「高齢者の転倒予防 講師：鳥海芳枝」
- ・ 12月 1 グループ研修会「認知症の関り方、マナーについてグループ討議」
- ・ 1月 2 グループ研修会「ユニットケアについて」
- ・ 2月 2 グループ研修会「シーティング」
- ・ 3月 介護保険制度改正内容研修会「上里町介護保険課担当者より説明」

② 施設外研修

- ・ 平成 26 年度集団指導
- ・ 埼玉県老人福祉施設協議会第 1 回研修委員会
- ・ 平成 26 年度要介護認定委託調査員新任研修会
- ・ モチベーションアップ研修会
- ・ 認知症介護基礎研修
- ・ 埼玉県介護支援専門員更新研修
- ・ 埼玉県老人福祉協議会看護職員研修会
- ・ 他施設見学

(3) 行事事業

- ・ 毎月の誕生会実施（ボランティア参加）
- ・ アニマルセラピー 毎月第 2 日曜日
- ・ 音楽療法 毎月第 1・第 3 火曜日
- ・ 4月 園庭桜見学、大光寺祭り、避難訓練・消火訓練
- ・ 5月 園庭「おやつ作り（お好み焼き）」
- ・ 6月 おやつ作りレク

- ・7月 施設納涼祭
- ・8月 流しそうめん、総合防災訓練
- ・9月 選択食（ちらし寿司、ほうとう）、敬老会
- ・10月 コスモス見学
- ・11月 ミニ運動会
- ・12月 餅つき大会、クリスマス会、避難訓練（夜間想定）
- ・1月 青空神社初詣
- ・2月 豆まき、健康祈願祭
- ・3月 選択食（にぎり寿司、ほうとう）

3 稼働状況

（1）介護老人福祉施設

<上半期>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働日数	30	31	30	31	31	30
新規入所者数	2	2	3	2	0	3
退所者数	1	1	5	0	2	4
要介護1	30	31	30	31	31	30
要介護2	113	93	90	93	93	90
要介護3	534	531	540	564	587	570
要介護4	970	1,072	1,067	1,141	1,164	1,111
要介護5	696	686	613	588	524	490
延人数	2,344	2,413	2,340	2,417	2,399	2,291
入所利用率	97.7%	97.3%	97.5%	97.5%	96.7%	95.5%
平均介護度	3.93	3.95	3.92	3.89	3.85	3.85
日常生活継続支援加算 件数・請求額	80 538,890	80 554,990	81 538,200	80 555,910	78 551,770	79 526,930
看護体制加算 件数・請求額	80 281,160	80 289,560	81 280,800	80 290,040	78 287,880	79 285,220
夜勤職員配置加算 件数・請求額	80 304,590	80 313,690	81 304,200	80 314,210	78 311,870	89 297,830
個別機能訓練加算 件数・請求額	77 269,280	76 278,040	77 276,720	74 278,880	74 273,120	73 256,800
栄養マネジメント加算 件数・請求額	77 307,580	76 317,660	77 306,600	74 308,000	74 312,060	73 295,400
経口維持加算 件数・請求額	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
療養食加算 件数・請求額	2 13,800	2 14,260	2 13,800	2 10,350	1 7,130	1 6,900
看取り介護加算 件数・請求額	1 19,600	0 0	2 92,000	0 0	0 0	2 96,000
加算請求合計額	1,734,900	1,768,200	1,812,320	1,757,390	1,743,830	1,755,080
保険請求合計額	21,319,330	21,969,110	21,305,320	21,907,600	21,673,750	20,758,420

<下半期>

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	31	30	31	31	28	31	365
新規入所者数	3	2	4	1	3	2	27
退所者数	1	1	4	3	3	2	27
要介護1	31	30	31	31	28	31	365
要介護2	62	60	62	62	56	31	905
要介護3	574	540	558	587	556	709	6,850
要介護4	1,237	1,211	1,158	1,152	1,069	1,126	13,478
要介護5	527	510	510	527	447	493	6,611
延人数	2,431	2,351	2,319	2,359	2,156	2,390	28,209
入所利用率	98.0%	98.0%	93.5%	95.1%	96.3%	96.4%	96.6%
平均介護度	3.89	3.89	3.89	3.88	3.86	3.71	3.89
日常生活継続支援加算 件数・請求額	80 559,130	80 540,730	82 533,370	78 542,570	80 495,880	78 549,700	6,488,070
看護体制加算 件数・請求額	80 97,240	80 94,040	82 92,760	78 93,460	80 86,240	78 95,600	2,264,600
夜勤職員配置加算 件数・請求額	80 316,030	80 305,630	82 301,470	78 306,670	80 280,280	78 310,700	3,667,170
個別機能訓練加算 件数・請求額	71 262,680	71 250,560	78 268,440	75 272,280	76 247,440	74 272,760	3,210,120
栄養マネジメント加算 件数・請求額	71 301,700	76 307,440	78 306,460	74 311,920	76 283,920	74 317,660	3,676,400
経口維持加算 件数・請求額	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0
療養食加算 件数・請求額	1 7,130	1 6,900	1 7,130	1 7,130	1 6,440	1 7,130	108,100
看取り介護加算 件数・請求額	1 48,000	1 48,000	3 99,600	1 19,600	3 124,000	1 48,000	594,800
加算請求合計額	1,591,910	1,553,300	1,609,230	1,553,630	1,524,200	1,601,550	20,009,260
保険請求合計額	21,840,690	21,124,000	20,950,690	21,204,950	19,416,720	21,416,760	254,890,460

(2) 短期入所生活介護

<上半期>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規利用者数	3	3	2	2	1	2
利用終了者数	2	1	2	0	2	2
要支援1	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0
要介護1	2	21	30	10	5	8
要介護2	60	57	54	58	54	50
要介護3	73	96	99	106	86	133
要介護4	220	201	175	189	199	205
要介護5	37	94	88	101	85	37
延人数	392	469	446	464	429	433
稼働日数	30	31	30	31	31	30
稼働率	87.1%	101.0%	99.1%	99.8%	92.3%	96.2%
平均介護度	3.59	3.62	3.53	3.67	3.71	3.36
加算状況 (介護)						
機能訓練 件数・請求額	24 42,600	26 54,960	26 53,040	28 55,440	25 50,280	24 50,640
看護体制 件数・請求額	24 42,600	26 54,960	26 53,040	28 55,440	25 50,280	24 50,640
夜勤職員配置 件数・請求額	24 46,150	26 59,540	26 57,460	28 60,060	25 54,470	24 54,860
送迎 件数・請求額	48 88,320	45 82,800	46 84,640	61 112,240	39 71,760	36 66,240
サービス提供体制 件数・請求額	24 42,600	26 54,960	26 53,040	28 55,400	25 50,280	24 50,640
加算状況 (予防)						
機能訓練 件数・請求額	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
送迎 件数・請求額	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
サービス提供体制 件数・請求額	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
加算請求合計額	262,270	307,220	301,220	338,580	277,070	273,020
保険請求合計額	3,331,140	4,285,270	4,111,580	4,369,160	3,945,070	3,997,820

<下半期>

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入所者数	2	0	7	2	5	2	31
利用終了者数	2	3	4	1	3	4	26
要支援1	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	2	2	6	4	2	8	100
要介護2	51	78	65	37	42	40	646
要介護3	132	110	108	73	127	155	1,298
要介護4	209	194	187	196	142	137	2,254
要介護5	69	68	88	117	122	129	1,035
延人数	463	452	454	427	435	469	5,333
稼働日数	31	30	31	31	28	31	365
稼働率	99.6%	100.0%	97.6%	91.8%	103.0%	101.0%	97.4%
平均介護度	3.63	3.56	3.65	3.9	3.78	3.72	3.65
加算状況 (介護)							
機能訓練 件数・請求額	23 54,120	23 52,680	28 53,400	22 49,440	29 50,880	28 54,840	622,320
看護体制 件数・請求額	23 18,040	23 17,560	28 17,800	22 16,480	29 16,960	28 18,280	412,080
夜勤職員配置 件数・請求額	23 58,630	23 57,070	28 57,850	22 53,560	29 55,120	28 59,410	674,180
送迎 件数・請求額	37 68,080	35 64,400	42 77,280	30 55,200	42 77,280	45 82,800	931,040
サービス提供体制 件数・請求額	23 54,120	23 52,680	28 53,400	22 49,440	29 50,880	28 54,840	622,320
加算状況 (予防)							
機能訓練 件数・請求額	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
送迎 件数・請求額	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
サービス提供体制 件数・請求額	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
加算請求合計	252,990	244,390	259,730	224,120	251,120	270,170	3,261,940
保険請求合計	4,173,100	4,037,130	4,129,780	3,887,840	3,981,560	4,279,310	48,432,640

Ⅲ 介護老人福祉施設 事業状況報告

特別養護老人ホーム青空新館

1 年度総括

平成26年度事業計画は、中規模型を導入するための準備年度として、また、今まで培った介護ノウハウを、効率的・効果的に実行する年度として事業にあたりました。

本館・新館共に介護老人福祉施設として行動方針を共有しつつ、本館・新館の独自性を持ったアクションプランを策定し実践しました。

全体会議は原則廃止としたことで、効率的な運営を行う一つの取り組みとして一定の効果が得られましたので来年度も継続していきます。

日常業務では、リーダーが実行責任を持って業務に当たりました。この1年で格段の成果が認められることではありませんが、今後も職員個々の介護ノウハウを発揮し継続的に実践します。

また、中規模ユニット型導入を目指す準備年度として、「当たり前の生活」を提供するために必要不可欠であるアセスメントに注力する年度でした。「当たり前の生活」は、現在の施設での生活はもちろんですが、以前の生活様式が把握できていないと支援が出来ません。

平成26年度は、施設入所以前の生活様式に目を向けたアセスメントに力点を置くことになっていましたが、現在の施設での生活のアセスメントに偏り、利用者個々の生活様式に注力する意識が青空全体でかけていました。

原因として、介護支援専門員を中心に役職者が、入所前の生活様式を連続性を保ったまま施設生活を送ることが「当たり前の生活」に繋がるという事の重要性を担当者に伝えられていなかったことが挙げられます。もちろん、包括的な視点でアセスメントを行っている職員もいますが、全体として介護支援計画に基づいて支援をする風土は確立されておらず、また、支援におけるケアプランの位置づけの理解も浅く、今後は、総合的なケアマネジメントの手順、過程を理解し、計画に沿った支援が求められています。それに合わせて、職員をサポートする役職者のマネジメント力の向上も求められています。

2 年度実施事業

(1) 事業計画取り組み事項

①効率的な運営を目指し、部署・職員個々の取り組みと実践力を形成します。

ア 全体会議を原則廃止したことで必要以上の時間外の削減につながりました。報告・連絡等は書面または電子メール等を活用し、申し送り時にも伝える事で申し送りの重要性を更に深めることに繋がりました。

イ 施設外研修への取り組みは平成25年度の取り組みを継続して行いましたが、参加職員に偏りが出てしまいました。

ウ カンファレンスは個人担当が責任を持って実行しましたが、アセスメントシート理解不足・内容の充実にかけてしまい又、役職者の関わりも薄く満足いく結果は認められませんでした。

エ 利用者様の誕生日に楽しく過ごせる時間を作り、ご家族と担当職員とで一緒に利用者様の誕生日をお祝いしました。又、職員とご家族様の交流が増える事で、ご家族様には利用者様の現在の状況を理解して頂き、職員はご家族様から利用者様の昔の情報などを得ることが出来ました。

オ 部署別収支について意識し行動しましたが、備品等の使用方法で更なる改善が図れることがまだまだある為、継続していく必要があります。

(2) 中規模ユニット型の検討を行うため、連絡会議等を活用していきます。

ア ユニット型の検討についての話し合いや、施設見学についての準備が予定通りに進まず平成27年度も継続して検討・準備を行っていきます。

3 研修等事業

(1) 施設内研修

4月：アセスメントについて

5月：カンファレンスについて

6月：接遇・マナー研修

7月：救急時の対応

8月：介護施設における医療と看護と看取り

9月：事故対策研修会

10月：感染症予防研修会

11月：認知症の理解

12月：介護職員のマナー研修

1月：ユニットケアについて

3月：シーティングについて

(2) 施設外研修

7月：第16期生卒業研修会

10月：福祉機器展

11月：施設見学（十日町福祉会 特別養護老人ホーム 三好園）

1月：希望としての介護セミナー

3月：ユニットケア研修フォーラム

4 行事事業

(1) 実施行事

4月：お花見（園庭）

5月：バラ見学（玉村北部公園）・お茶会（園庭）

6月：食べ放題（デイホール）

- 7月：納涼祭(園庭)
- 8月：流しそうめん(ホール)
- 9月：外出レク(群馬の森)
- 10月：焼き芋(園庭)
- 11月：お笑い鑑賞会
- 12月：忘年会バイキング(デイホール)
- 1月：初詣(青空神社)
- 2月：豆まき(ホール)
- 3月：焼き物喫茶(ホール)

IV 通所介護 事業状況報告

デイサービスセンター ポピー

1 年度総括

デイサービスポピーは平成25年4月29日に生活リハビリ型としてリニューアルオープンし、約1年10ヶ月経ちました。以来、事業コンセプトは「御本人・御家族・地域の皆様に選ばれるため、信頼される支援をします」を掲げております。

前年度の総論でも記述した通り、近年のポピーの稼働状況は低下・微増を繰り返しており、24年度は65.6%、25年度は69.6%となっております。今年度の稼働率については1月末時点では目標に掲げた80%には到達せず68.8%となっております。

現利用者の回数保持や増加については、必要に応じて週間の利用回数を増やすなどし、通院や急用などの休みを振替利用の提案を行っています。すべてを利用まで持つていくことはできていませんが引き続き行っています。また、新規利用者の獲得については、居宅の開拓や近隣・地域や明正会職員からの紹介してもらうことを掲げていましたが、情報収集に繋がる動きを積極的に行えなかったこともあり、まだ数字としては出ておりません。

サービスの質の向上については、各利用者のアセスメントを大事にしております。3大介護、レクリエーション、機能訓練を提供するにあたり、アセスメントの重要性を職員個々が理解出来てきております。しかし職員の入れ替わりなどによるアセスメント能力に差があり、利用者の方々が本当に必要するサービスを提供できているかと思う面もあります。今後は職員間の能力の差をなくすべく、職員個々が課題を掲げクリアしていくために各自が課題クリアのために自発的に研修の参加をしていく必要性があります。

そして引き続き定例会議や日々のアセスメント・カンファレンスから各利用者のニーズを的確に引き出し、笑顔と笑い声の絶えない活気のあるデイサービスになるように展開をしていきます。

26年度は個別機能訓練加算と運動器機能向上の加算の算定を再開しました。それによる増収もさることながら、訓練を行っている利用者個々に目標ができ、楽しく目的を持ったサービス利用が展開できております。今後は更なる算定者の獲得や現算定者の目的意識を継続してもらうためハード面・ソフト面共に充実している環境づくりを行っていきます。

27年度は介護報酬が改正され通所サービスにおいても大幅な減算となります。減算分については新規利用者の獲得や現利用者の回数増はもちろんですが、日々の光熱費の節約や、時間外手当減のために日頃の業務の見直し、定例会議の在り方やを徹底して行っています。

また、再来年度には要支援者に対する日常生活支援総合事業が開始されます。明正会のデイサービスとして地域包括支援センターと連携を図り、地域に選ばれる施設になるよう準備をしていきます。

2 年度実施事業

(1) 事業計画取組み事項

- ・ 地域交流：児玉郡市ふれあい作品展への出展
利用者家族への利用アンケート
賀美小学校社会福祉施設見学

(2) 研修等事業

- | | | | |
|-----|-------------|-----|---------------|
| 4月 | 全体：アセスメント | 5月 | 全体：カンファレンス |
| 6月 | 全体：接遇・マナー | 7月 | 全体：緊急時の対応 |
| 8月 | 全体：看取り | 9月 | 全体：事故対策 |
| 10月 | 全体：感染症 | 11月 | 全体：認知症 |
| 12月 | 全体：介護職員のマナー | 1月 | 全体：ユニットケア |
| 2月 | 全体：シーティング | 3月 | 全体：介護保険改正について |

(3) 行事事業

- | | |
|-----|--|
| 4月 | 誕生会、買い物ツアー、大光寺まつり、花見（桜・堤） |
| 5月 | 誕生会、買い物ツアー、花見（バラ・玉村） |
| 6月 | 誕生会、買い物ツアー、芋ほり |
| 7月 | 誕生会、買い物ツアー、琥珀見学 |
| 8月 | 誕生会、夏祭り |
| 9月 | 誕生会、買い物ツアー、ふれあい作品展、敬老会 |
| 10月 | 誕生会、買い物ツアー、花見（コスモス・久保） |
| 11月 | 誕生会、買い物ツアー、賀美小交流、軟菜試食会、大根ほり |
| 12月 | 誕生会、買い物ツアー、年末お楽しみ会、外食 |
| 1月 | 誕生会、買い物ツアー、初詣（玉村） |
| 2月 | 誕生会、買い物ツアー、主菜バイキング |
| 3月 | 誕生会、買い物ツアー、イチゴ狩り（花園）、四季咲きの杜見学、
花見（桜・高崎） |

4 月別稼働状況

平成26年度 通所介護「ポピー」稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
稼働状況	運営日数	22	22	21	23	21	22	23	20	20	20	20	22	
	新規利用者数	0	4	5	2	2	0	2	2	1	0	3	0	
	利用終了者数	4	5	2	1	0	2	0	2	2	2	3	2	
	予防	支援1	58	70	54	51	38	29	37	31	29	29	34	36
		支援2	73	74	70	99	100	90	82	72	79	57	60	60
		予防計	131	144	124	150	138	119	119	103	108	86	94	96
	介護	介護1	160	127	126	136	143	169	186	169	161	127	144	140
		介護2	64	79	82	90	83	85	91	74	83	61	65	82
		介護3	8	35	47	56	56	53	54	46	43	42	49	61
		介護4	38	30	46	41	31	14	24	14	13	17	9	12
		介護5	21	13	18	15	15	17	22	15	13	14	13	17
		介護計	291	284	319	338	328	338	377	318	313	261	280	312
	合計	422	428	443	488	466	457	496	421	421	347	374	408	
サービス加算状況	入浴介助加算	108,000	109,000	123,500	134,000	132,500	137,000	147,000	119,000	118,500	95,500	113,500	119,000	
	運動器機能向上(予防)	0	18,000	20,250	18,000	20,250	24,750	22,500	22,500	24,750	24,750	22,500	24,750	
	機能訓練(介護)	0	27,500	24,000	33,500	39,500	29,000	35,000	24,000	29,000	21,500	33,000	37,000	
	サービス提供(予防)	13,440	13,920	12,960	15,360	15,360	13,440	12,000	12,480	12,480	12,480	10,560	9,600	
	サービス提供(介護)	36,960	34,080	38,280	40,560	39,360	40,560	45,240	38,160	37,680	31,320	33,600	37,440	
	事業所評価加算	22,800	24,000	21,600	24,000	22,800	20,400	18,000	19,200	19,200	19,200	16,800	15,600	
処遇改善加算請求額	58,980	56,740	62,490	67,360	65,990	64,650	68,400	59,480	57,570	50,520	53,330	57,180		
保険請求額合計(処遇含まず)	2,937,067	2,839,353	2,958,283	3,246,952	3,122,253	3,058,957	3,230,820	2,854,249	2,716,787	2,385,933	2,523,279	2,759,388		

V 軽費老人ホーム・特定施設入居者生活介護
事業状況報告

ケアハウス 桜草

1 年度総括

平成26年度は、「自ら考え、自ら行動し、チームワークを大切に利用者を支援します」とスローガンにもあるように、職員個々が良い意味で自立をし、「介護力」を高めていくことを目標に取り組みました。

特定施設の指定から8年ほど過ぎ、職員の入れ替わりや、入居者の入退居も増えてきています。その中で、継続的に、桜草はどのような介護をしていくのかを考えていかななくてはいけない時期にきていると思います。

平成27年度のスローガンとしては「自立支援の介護」を挙げており、ケアハウス(特定施設)ならではのケアの方法などをカンファレンス等を中心に模索していきます。

2 年度事業計画実施事業

(1) 事業計画取組事項

- ①係活動
- ②ニーズ抽出シートを用いたカンファレンスの実施

(2) 研修事業等

- ①法人施設内研修の研修委員2名参加
- ②施設見学 長野県アザレアン真田

(3) 実施行事等

- 4月 外出レク ららん藤岡
- 5月 外出レク 道の駅岡部
- 6月 外出レク 上里サービスエリア
- 7月 納涼祭
- 8月 バイキング
- 9月 外出レク ららん藤岡
- 10月 外出レク 上里サービスエリア
- 11月 バイキング
- 12月 ホーム喫茶
- 1月 新年会
- 2月 バイキング
- 3月 外出レク 道の駅岡部

3 年度稼働状況

(1) 入・退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	4
退居	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	4

(2) 入居者延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支1	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	31	365
支2	1012	120	114	120	124	93	60	51	53	57	62	84	74
介1	1902	139	155	150	155	155	180	186	180	152	155	140	155
介2	1015	90	93	90	93	93	60	62	60	89	107	109	69
介3	1533	91	124	106	124	155	150	155	157	124	124	112	111
介4	913	60	62	60	62	62	90	93	77	77	93	84	93
介5	755	84	93	90	93	62	30	31	30	62	62	56	62
計	614	672	646	682	651	600	609	587	593	634	613	595	7496

※特定利用者のみ。

※入・退院数、入退居日の誤差は含めていない。

4 月別介護報酬請求状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
保険請求	3,892,350	4,312,480	4,117,340	4,359,450	4,169,470	3,851,310
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保険請求	3,927,830	3,765,760	3,851,240	4,136,720	3,948,870	3,851,310

※処遇改善含む

平成26年度介護報酬平均	4,015,344
--------------	-----------

VI 認知症対応型共同生活介護 事業状況報告

グループホーム さくらんぼ

1 年度総括

平成26年度グループホームさくらんぼでは、「生活の質の向上」＝「その人らしさ」を目指し事業を行いました。

利用者様のその人らしさを引き出し、利用者様個々にトータル的な援助を提供するため、担当職員がアセスメント～ケアプランを作成しています。

また、アセスメントシートも、職員がわかりやすく記入出来るものに変更しました。

個別に関わりを持つことで、利用者様の小さな要望や希望に応え、それぞれに合った援助や楽しみを見つけ出すことが出来ていると思います。

レクリエーションや行事においては、地域とのふれ合いを大切にするために、地元を中心にお花の観賞や外食・ボランティア来園を行いました。

そのためか、地域の方々とも顔見知りになり、関わりが深くなってきていると、実感しています。

そして、最後まで地元で暮らしていただける支援を目指し、利用者様にも地元で、暮らしている喜びや安心感を抱いていただけるよう努めています。

また、利用者様の好みや出来る事を見極めながら、さまざまな作品に取り組み、利用者様も楽しそうに、やりがいを持って参加されております。

さくらんぼも、開所から14年目になり利用者様の重度化～終末期を視野に入れ援助出来るよう、職員の知識・技術の向上を目指しておりますが、職員の知識にばらつきがあるため、職員一人ひとりのレベルに合った指導を個別に行います。

平成27年度は利用者様の重度化～終末期を、ご本人やご家族の要望や希望をくみ取り、最後までその人らしく、穏やかな生活を送っていただける支援を目指し、職員全員で取り組んでまいります。

2 年度実施事業

(1) 事業計画取り組み事業

- ・ しし踊り
- ・ 大正琴のボランティア
- ・ 民謡のボランティア
- ・ バランスボールのボランティア
- ・ 運営推進会議(2ヶ月に1度・年6回開催)
- ・ 地域住民へのさくらんぼ便りの回覧(毎月)
- ・ 部署全体会議
- ・ 法人内避難訓練(年3回実施)

(2) 研修等事業

①施設内研修

- 4月 アセスメントについて
- 5月 カンファレンスについて
- 6月 接遇&マナー研修
- 7月 緊急時対応について
- 8月 看取りに役立つ知識について
- 9月 高齢者虐待防止について
- 10月 感染症対策
- 11月 認知症について
- 12月 介護職としてのマナー
- 1月 ユニットケアについて
- 2月 シーティングについて
- 3月 介護保険制度改正について

②部署内勉強会

- 4月 ケアプランについて
- 5月 ケアプランについて
- 6月 ケアプランについて
- 7月 ケアプランについて
- 8月 ケアプランについて
- 10月 ケアプランについて
- 11月 ケアプランについて
- 12月 ケアプランについて
- 1月 認知症について
- 2月 認知症について
- 3月 看取りについて

(3) 行事事業

- 4月 さくらの花見・外食
- 5月 藤の花見・外食・母の日
- 6月 アジサイ花見・外食
- 7月 誕生会・納涼祭・七夕・民謡会
- 8月 すいか割り・バイキング
- 9月 誕生会・お月見・ふれあい作品展・琴美月
- 10月 コスモス花見・外食・しし踊り
- 11月 菊花展(施設園庭)・バイキング

12月 クリスマス・もちつき・琴響会

1月 お正月

2月 誕生会・節分・民謡会・バイキング

3月 誕生会・ひなまつり・バランスボールボランティア

Ⅶ 居宅介護支援事業所 事業状況報告

居宅介護支援センターりんどう

1 年度総括

当法人のサービス付き高齢者向け住宅グランドケア琥珀設立に伴い、事業範囲の拡大を図ったことで居宅総利用者数80名の内、介護給付は58名、予防給付は22名となり、前年度に挙げた目標の利用者増を達成する事ができました。

今後も更なる利用者獲得を目標とし、新規相談・現利用者・家族・保険者・病院からの紹介を受け入れ、適切なマネジメントを行なうと共に、行政機関や介護保険事業所との連携を蜜に図り、ケアプラン作成受け持ち可能状況をアナウンスしていきます。

尚、委託されている認定調査、実態把握調査委託件数について共に去年同様の委託件数を受けることができました。

来年度も本年同様の委託件数維持に努めると共に、他自治体からの介護認定調査依頼を積極的に受け、給付外の収益に努めます。

今年度の介護報酬改定に対応し介護支援専門員として、介護保険が目指す高齢者の尊厳を保持し、自立支援を進める在宅生活の現実に寄与する在宅介護支援活動を行っていきます。

2 実施事業

- ・居宅支援事業（モニタリング・評価・訪問・介護請求・相談等）
- ・高齢者実態把握調査
- ・神川町、他保険者認定調査

3 研修事業

- 3月 介護支援専門員レベルアップ研修
- 4月 本庄児玉郡市ケアマネ連絡会総会
- 5月 上里町ケアマネ連絡会研修
- 7月 本庄児玉圏域ケアマネ連絡会居宅事業所研修
上里町ケアマネ連絡会研修
- 10月 児玉圏域ケアマネ連絡会居宅事業所研修
- 12月 介護支援専門員実務従事者基礎研修
- 2月 児玉圏域ケアマネ連絡会研修
- 3月 上里町ケアマネ連絡会研修 ※ 明正会施設内研修参加

4 年度稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
稼働状況	介護度別	要支援1	5	6	6	4	4	5	6	7	7	9	10	11	80	
		要支援2	4	6	7	10	11	9	9	9	9	11	11	11	107	
		要介護1	18	14	14	15	16	15	17	16	14	14	13	14	180	
		要介護2	9	8	8	9	9	7	7	8	12	12	11	13	113	
		要介護3	2	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	7	10	58
		要介護4	10	10	11	12	15	15	14	12	10	10	11	8	138	
		要介護5	1	3	3	2	3	3	3	4	6	7	8	9	52	
		平均介護度	2.1	2.4	2.5	2.4	2.2	2.2	2.2	2	2.1	2.1	2.2	2.1	2.2	
新規利用者数	1	5	2	4	5	3	3	5	5	7	10	8	58			
利用修了者数	3	1	0	1	1	6	3	1	2	0	5	4	27			
総利用者数	49	51	53	56	62	58	60	62	63	68	71	80	733			
保険請求額	500,080	498,280	505,410	499,830	603,670	588,470	590,650	597,760	620,289	645,482	687,744	820,457	7,158,122			

VIII 訪問介護 事業状況報告

訪問介護ステーションひまわり

1 年度総括

訪問介護ステーションひまわりは、11月事業を開始しました。在宅生活を明正会の事業で完結できる体制を構築するため、また、地域包括ケアシステムを担う事業として事業にあたってまいりました。

事業開始してまだ月日は浅いですが、利用者様にとって「ひまわり」は暮らしの一部を支援するかけがえのない存在となり、信頼関係も構築しております。

平成26年度事業コンセプトに「サービス提案型訪問介護」を掲げ、利用者様の自立を支援することを目的に、訪問時に専門性を持ったアセスメントを行い、自立に向けたサービスを担当ケアマネージャーに提案する取り組みを行ってきました。

平成27年度の事業コンセプトも引き続き、「サービス提案型訪問介護」とし、自立支援に向けたサービスが提供できるよう、介護力の向上を目指します。

2 年度稼働状況

(1) 新規利用者

	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	9	0	0	2	0	11
中止	0	0	0	0	0	0

(2) 延べ利用回数

	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援1	16	16	16	20	27	95
支援2	8	7	7	7	6	35
介護1	21	22	19	23	31	116
介護2	3	4	4	4	4	19
介護3	0	0	0	0	0	0
介護4	0	0	0	0	0	0
介護5	0	0	0	0	0	0
計	48	49	46	54	68	265

(3) 月別介護報酬請求状況

	11月	12月	1月	2月	3月	計
保険請求	135,640	138,480	130,170	155,870	174,200	734,360

Ⅸ サービス付高齢者向け住宅 事業状況報告

グランドケア 琥珀

1 平成26年度事業総括

高齢者の多様化するニーズに応えるため、平成26年7月に明正会初となるサービス付き高齢者向け住宅の事業を開始しました。

事業開始の準備期間では、物品の購入や納品、介護保険事業所の指定申請や職員の採用及び研修等、延滞なく進めることができました。

しかし、入所者の募集の営業では、埼玉県全域、東京都、群馬県にわたって、訪問活動を行ってきましたが、稼働率目標の達成については、目標値に遠く及ばない実績になってしまいました。サービス付き高齢者向け住宅に対して医療機関や居宅のケアマネージャーの認知度や理解度、住宅に対するイメージの悪さが印象的でした。そのため、営業開始当初よりイメージの払拭や住宅のサービス内容の説明を行い、開園し入居が少しずつ進むにつれ担当のケアマネージャーや同一事業所内でグランドケア琥珀の運営方針やサービス内容が認知され、後半期には、紹介を受ける機会も多くなり、入居率も徐々に増えてきています。

運営開始後は、地域の医療機関や介護サービス事業者と連携をはかり、入居後も切れ目のないサービス提供に努め、居宅介護支援事業者と生活状況等を密に連絡を取ることで、現在では、要介護度が高く介護の必要性がある方も住宅での生活を継続することが出来ています。

また、協力医療機関と連携することで末期癌の方の住宅での看取りも行いました。一般的に体調悪化時には救急搬送するケースがほとんどですが、特養等で培ったノウハウを活用することで、入居者の希望に添った支援を行うことが出来ました。他の住宅にはない、強みを活かし今後も地域住民に必要とされる住宅運営、入居者支援を行います。

2 年度実施事業

(1) 事業計画取組事業

- ①エリア会議の実施
- ②エリア勉強会の実施

(2) 研修事業等

- ①法人施設内研修への参加
 - 6月 接遇・マナー
 - 7月 緊急時の対応
 - 8月 介護施設における医療と看護、看取り介護
 - 9月 虐待防止について
 - 10月 感染防止対策
 - 11月 認知症について
 - 12月 介護職としてのマナーとはなにか

- 1月 ユニットケアについて
- 2月 シーティング
- 3月 介護保険制度改正内容

②エリア勉強会

- 9月 ジェネリック医薬品、お薬手帳について（外部：ホームケア薬局）
利用者への接し方・触り方について（実技研修）
- 10月 認知症について（外部：ホームケア薬局）
- 1月 移乗介助（実技研修）
- 3月 介護保険改正について

(3) 実修行事等

- 7月 竣工式、内覧会
- 9月 敬老会
- 10月 まんじゅう作り、琥珀祭、避難訓練
- 11月 演奏会（ボランティア）、職員インフルエンザ予防接種
- 12月 クリスマス会、もちつき大会
- 1月 職員健康診断
- 3月 白鳥見学

3 月別稼働状況

(1) 入居・退居状況

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入居者数	5	5	2	4	2	2	2	11	5	38
退去者数	0	1	0	1	0	0	0	3	0	5
入居状況	自立	1	1	1	1	1	1	2	5	
	要支援1	1	2	2	2	2	2	6	6	
	要支援2	0	1	1	3	4	5	3	4	
	要介護1	1	1	1	1	1	2	2	4	
	要介護2	0	1	1	1	3	3	3	7	
	要介護3	1	1	2	3	2	2	2	3	
	要介護4	1	2	3	3	2	2	3	3	
	要介護5	0	0	0	0	1	1	2	2	
	計	5	9	11	14	16	18	20	29	34
入居率(月末)	13.16%	23.68%	28.95%	36.84%	42.11%	47.37%	52.63%	76.32%	89.47%	
サービス利用状況	洗濯	0	2	2	4	6	4	9	11	52
	清掃	0	1	0	0	0	0	2	1	4
	送迎	0	10	9	22	29	38	39	27	194
	買い物代行	0	7	0	0	4	2	2	2	18

(2) 請求状況

	7月	8月	9月	10月	11月
請求額	94,760	881,968	1,099,300	1,442,184	1,628,483
	12月	1月	2月	3月	合計
請求額	1,787,467	2,130,867	2,353,799	3,167,000	14,585,828

X 通所介護 事業状況報告

デイサービスセンター みのり

1 平成26年度事業総括

デイサービスセンターみのりは、サービス付き高齢者向け住宅の併設施設として平成26年7月に同時オープンしました。

深谷市柏合地域の近隣住民の利用を通して、地域での認知度や必要性を増していく計画でありましたが、地域の利用者は若干名にとどまっています。27年度、サービス内容を居宅介護支援事業所へアピールし新規利用者の獲得を目指していきます。

グランドケア琥珀の入居者は入浴等の利用ニーズがあり、住宅での生活の基盤を担う必要不可欠な存在になっています。

介護では、開園当初より地域に選ばれるデイサービスを目指して支援方法について検討を重ね、「自分らしい時間をすごしてみませんか」のキャッチフレーズのもと、自主性や主体性を尊重した介護を提供してきました。

特に、機能訓練やレクリエーション活動に力を入れ、10月からは個別機能訓練加算を算定しています。利用者の生活を細かくアセスメントし利用者と達成目標を共有することで、生活機能維持に必要な訓練プログラムを積極的に行うことができています。

運営方針やカンファレンス等の検討を通し、職員一人一人が自分達でサービスを創意工夫するという姿勢に徐々になっています。今後は、利用者一人一人に目を向け、全体ではなく個々のサービスを強化していくことが必要になると考えています。

2 年度実施事業

(1) 事業計画取組事業

- ①エリア会議の実施
- ②エリア勉強会の実施

(2) 研修事業等

①法人施設内研修への参加

- 6月 接遇・マナー
- 7月 緊急時の対応
- 8月 介護施設における医療と看護、看取り介護
- 9月 虐待防止について
- 10月 感染防止対策
- 11月 認知症について
- 12月 介護職としてのマナーとはなにか
- 1月 ユニットケアについて
- 2月 シーティング
- 3月 介護保険制度改正内容

②エリア勉強会

- 9月 ジェネリック医薬品、お薬手帳について（外部：ホームケア薬局）
- 9月 利用者への接し方・触り方について（実技研修）
- 10月 認知症について（外部：ホームケア薬局）
- 1月 移乗介助（実技研修）
- 3月 介護保険改正について

③施設外研修参加

- ・ 集団指導
- ・ 他事業所見学（個別機能訓練加算算定のため）2ヶ所

（3）実施行事等

- 10月 コスモス狩り、買い物レク、おやつ作り、ハロウィン
- 11月 買い物レク、おやつ作り、工作レク、紅葉狩り
- 12月 深谷巡り、クリスマス会、買い物レク、おやつ作り
- 1月 新年会、おやつ作り、買い物レク
- 2月 節分、おやつ作り、買い物レク
- 3月 お花見（梅）、おやつ作り、買い物レク

（4）体制及び介護給費算定等

- 11月 個別機能訓練Ⅱ 加算算定
- 3月 定員変更 29名 → 10名

3 月別稼働状況

(1) 利用状況

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
新規者数	1	5	3	2	3	2	4	4	7	31	
利用実人数	1	6	9	11	13	14	18	20	27	119	
延べ利用回数	2	64	87	101	125	146	174	162	255	1,105	
1日平均利用者数	0.2	2.1	2.9	3.3	4.2	4.7	5.6	5.8	8.2		
稼働率	0.5%	7.1%	10.0%	11.2%	14.4%	16.2%	19.4%	20.0%	82.3%		
月別介護度別利用延べ回数	要支援1	0	4	4	4	9	8	12	11	23	75
	要支援2	0	0	1	5	4	3	13	6	10	42
	要介護1	2	13	13	12	13	17	24	18	34	146
	要介護2	0	7	22	25	22	39	46	48	68	277
	要介護3	0	18	19	11	18	14	12	12	34	138
	要介護4	0	22	26	30	40	43	35	47	65	301
加算算定状況	要介護5	0	0	2	14	19	22	32	20	21	130
	入浴介助	2	46	60	74	83	107	108	115	174	769
	送迎減算	2	61	83	93	115	133	154	150	228	1,011
	運動器機能向上 個別機能訓練Ⅱ					1	2	3	4	4	14
					29	31	31	17	30	138	

(2) 請求状況

	7月	8月	9月	10月	11月
請求額	11,718	461,979	652,563	722,160	866,088
	12月	1月	2月	3月	合計
請求額	1,045,782	1,181,682	1,105,713	1,667,322	7,717,707

XI 訪問介護 事業状況報告

訪問介護ステーション 雅

1 平成26年度事業総括

訪問介護ステーション雅は、サービス付き高齢者向け住宅の併設施設として平成26年7月に同時オープンしました。

訪問介護は、在宅生活を継続する上で最も身近な介護サービスになります。また、体調の変化にも気付きやすく他事業所との情報交換がとても大切です。

雅では、居宅介護支援事業所やグランドケア琥珀との情報交換を常に意識し、変化や訴えを適切に伝達できる事業所を目指してきました。また、介護技術や知識等の日々進展に合わせ、法人施設内研修を中心に研修参加してきました。

訪問介護ステーションひまわりの営業開始以降、グランドケア琥珀の入居者へのサービス提供しか行えていませんが、デイサービスセンターみのり同様、深谷市柏合地域周辺の住民の利用を増加させるため、居宅支援事業所に積極的に働きかけていきます。

2 年度実施事業

(1) 事業計画取組事業

- ①エリア会議の実施
- ②エリア勉強会の実施

(2) 研修事業等

①法人施設内研修への参加

- 6月 接遇・マナー
- 7月 緊急時の対応
- 8月 介護施設における医療と看護、看取り介護
- 9月 虐待防止について
- 10月 感染防止対策
- 11月 認知症について
- 12月 介護職としてのマナーとはなにか
- 1月 ユニットケアについて
- 2月 シーティング
- 3月 介護保険制度改正内容

②エリア勉強会

- 9月 ジェネリック医薬品、お薬手帳について（外部：ホームケア薬局）
- 9月 利用者への接し方・触り方について（実技研修）
- 10月 認知症について（外部：ホームケア薬局）
- 1月 移乗介助（実技研修）
- 3月 介護保険改正について

③施設外研修参加

・ 集団指導

(3) 体制及び介護給付費算定等

9月 営業地域に上里を追加

3 月別稼働状況

(1) 利用状況

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
新規者数	1	4	8	1	0	1	1	2	8	26	
利用実人数	1	5	13	13	6	7	8	10	17	80	
延べ利用回数	1	37	106	133	81	81	93	103	173	808	
1日平均利用回数	0.03	1.2	3.5	4.3	2.7	2.6	3.0	3.7	5.6	2.9	
月別 利用 延べ 回数	介護予防	0	3	21	26	4	5	4	4	22	89
	身体20-30分			16	38	32	30	33	36	48	233
	身体30-60分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体60分以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活20-45分	0	0	0	0	0	4	6	4	5	19
	生活45分以上	1	26	58	60	32	33	37	31	42	320
	身体20-30分生活20-45分	0	0	0	0	2	4	6	17	49	78
	身体20-30分生活45-70分	0	8	11	9	11	5	7	11	7	69
身体20-30分生活70分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 請求状況

	7月	8月	9月	10月	11月
請求額	3,708	101,898	281,421	314,649	197,397
	12月	1月	2月	3月	合計
請求額	188,127	219,906	256,509	288,567	1,839,348

XII 介護老人福祉施設 事業状況報告

地域密着型ユニット型介福 四季咲きの杜

1 年度総括

平成 27 年 3 月 25 日、本庄市の地域密着型ユニット型特別養護老人ホームとして開設いたしました。

社会福祉法人として従来の施設を基本としつつ、地域密着型の特性と役割を認識し、新たなサービス事業の展開を行うことで、地域に貢献する法人としての役割を果たしたいと考えています。

これまで培ってきた「当たり前の生活の継続」を諦めない介護を「介護力」として提供してきた自負を、この地域「本庄市」に提供していきたいとの強い理念のもと、関係者皆様のご協力のもと無事開設することができました。

職員の大多数は新規採用ですが、その殆どが介護職員経験者であり、国家資格である介護福祉士取得者も 6 割以上おります。

新職員に対して、3 月初旬より職員研修を綿密に行い、法人理念、四季咲きの杜の運営方針を始め、介護技術、高齢者、認知症者の心理、援助者としての対応姿勢等について改めて学び、演習を通して意思統一を図ってまいりました。の成果もあり、開設後も大きなトラブルもなく、入所者、ご家族の方には安心して四季咲きの杜を利用していただいております。

次年度は、処遇の在り方、稼働率、また地域貢献等を本格的に進めることで地域密着型として、ユニット型介護老人福祉施設としての役割を果たす運営を行います。

2 年度実施事業

3 月 2 日	職員入社式 職員研修の実施（開設日まで毎日実施）
3 月 6 日	竣工式
3 月 9～10 日	内覧会
3 月 25 日	開設、入所者受け入れ

3 稼働状況

3 月中の入所者 14 名（男性 3 名 女性 11 名）